

第14回ナガセケンコー旗争奪行政交流大会

特別規則と注意事項

1. ベンチには、登録選手(メンバー表記載)・行政担当・監督・コーチ(2名)・スコアラーしか入ることは出来ない。
2. 監督・コーチ・選手は、ユニホーム・スパイク・ゴム底運動靴の着用を義務づける。(自チームの物で良い)
《監督は30 ・ コーチは28 ・ 29の背番号をつけていること。(背番号の重複可)》
3. **試合時間・回数は1時間20分若しくは6回とし、勝敗が決しない場合は特別ルールにて1イニングのみ行い、特別ルールでも勝敗が決しない場合は、抽選にて勝敗を決める。**
【 特別ルールは、無死1・2塁で、継続打順という同一条件とする。】
4. **決勝戦も同じく時間・回数制限とし、勝敗が決しない場合は特別ルールにて決着がつくまで行う。**
5. 4回10点、5回7点差がある場合コールドゲームを採用する。《 決勝戦も同じく採用する 》
6. 投手の投球数制限は1日70球とする。
7. 審判は、各行政にて審判員を派遣していただきます。《 組合せ表にて対応する。 》
8. 球審及び塁審の服装は**各行政にて着用のもので対応する。**
9. 試合開始時間前でも、前の試合が早く終了した場合は直ちに次の試合を開始する。
10. 試合開始時間になっても球場に来ないチームは棄権とする。
11. 日程の都合上、小雨の場合でも球場使用が可能な状態であれば強行する。
12. 暗雲降雨により試合を**中断・中止した場合で、4回を終了していれば試合成立として終了する。**
但し、それ以外の場合は、**再試合**とする。
13. タイムはプレーヤーが要求した時ではなく、審判員が認めた時である。
14. 抗議できる者は、監督・主将(当日のメンバー表記載の)か当該プレーヤーのみとする。
《 但し、ルールの適用に誤りがあった時のみ 》
15. どんな方法であろうと、相手チームの選手や審判員に対して悪口・暴言は禁ずる。
16. 選手並びに応援団の行動については当該チームが一切その責任を負うこと。
17. 本大会では、不慮の事故及び障害等の責任は一切負いません。
18. 雷鳴が発生した場合は、球審の指示により直ちに試合を中止し安全な場所へ避難する。
19. その他競技規則は、2023年公認野球規則及び全日本軟式野球の内規を適用する。